

重いリバウンドを乗り越え治療を続けている母子。

「真実の医療に出会えて感謝します」 浜 34歳

2017年5月27日

いつもお世話になりありがとうございます。松本先生に数ヵ月前、「君が手記を書くのはもう少し先や。」と言われていたのですが、今は「どんだけ辛かったか書いたらいい。」と言ってくださる段階まできたことに大変嬉しく感謝します。何を書こうかな、上手くまとめられるかな等と考える余裕がある状態になり松本先生には感謝しかありません。

私の学歴は至って普通で、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学を卒業しました。学校の先生の言う通りに考え行動するのが良い子、先生の考える答えを出すと成績も良くなるという環境で育ちました。自ら考え、疑問を持ち、行動する、自立した子どもを育てるのが学校と唱いながら、実際は真逆の教育を受けていたのではないかと松本医院に通院中に考えるようになりました。松本先生は「何故？と疑問を持ち考えることが大事や。」と何度も言って下さいました。初めの頃は全く理解できませんでした。今も理解できていないと思いますが、自分が疑問を持たずに生きてきたことに何となく気づき始めたこの頃です。

生後3ヵ月でアトピーと診断され、ステロイドの塗り薬、オレンジ色の水の甘くて美味しい飲み薬、目薬、小学生の頃は錠剤も飲んでいました。お薬の種類はわかりません。春先は毎年全身荒れていました。手は春先だけでなく荒れていました。中学生の時は春先、顔がパンパンに腫れました。ステロイドを塗っても効きません。なので、感覚的にステロイドは効かない薬と思っていました。だけど、病院を変えても出されるのはステロイドの塗り薬でした。これしかないんだろうなと思い、ひどい時は使いますが、堪えられる時は市販のハンドクリームでやり過ごす日々でした。ステロイドの副作用なんて考えたことすらありませんでした。だけれど感覚的に良くない薬だろうと思っていました。

松本医院を初めて知ったのは大学4年生の時でした。ゼミの担当教授のお子さんが松本医院でアトピーの治療をされていて、教授が「腑に落ちる医療をしている最高の病院。時間もお金もかかるがアトピーは治る。お金に余裕があるなら行ってみた方が良い。」と教えてくださったからです。当時は学生でしたので「お金ないし無理やな、でも、いつか治したい。」と思い、頭の片隅に「高槻の松本医院」というワードは残っていました。

社会人になり働き始めた時に手荒れで辛く、松本医院に行ってみようかと悩んだのですが、私は回り道をしてしまいました。今、思うとその回り道も何故？

と疑問を持たない私には必要なことだったと感じます。社会人1年目から6年目まで民間療法の脱ステロイドをしました。手にばかりリバウンドが出ました。リンパ液も、もちろん出ました。松本医院だったらリンパ液の正体も理由もすぐに解るのに民間療法は素人の集まりなので、堪えるのみでした。クリームも使いましたが、治っている感覚はありませんでした。洗剤、化粧品まであり全てその製品にしました。300万円以上は使っています。それなのに、治らない。「どこも一緒か」とアレルギーの治療を半ば諦めていました

社会人7年目、第1子出産。子どもが卵の白身に反応したので、それを期に松本医院に行きました。お盆の時だったと思います。3時間ほど待ちました。何の予習もせずに行きました。他の患者さんに松本先生が話をされているのを聞いていたので、化学物質が良くないとおっしゃっているのは分かりました。先生には、「何でうちに来たん？アレルギーの原因は何かわかる？」と聞かれたのを覚えています。しっかり勉強していなかった私は、「化学物質」と言うところを「化学製品」と答えました。先生はすぐに「化学物質やな」と訂正してくださいました。診察して頂いている間も電話が鳴り止みませんでした。電話で先は患者さんに「君の免疫が病気を治すんやで。」と何度もおっしゃっていました。そして私に「君にも言うてるんやで。」とおっしゃられました。しかし、私はまだ先生の凄さを分かっています。「免疫？自分で治す？漢方で治すのに？治るなら何でもいいや。」と思っていたのを見抜かれていました

1度目の診察で何十回も「君の免疫が治すんや。」と言われたのを今でも情景とともにはっきりと覚えています。先生の診察だけでなく看護師さんからは、お薬の説明、治っていく過程のお話を聞きました。当時の看護師さん自身もアレルギーの治療をされていて、ご自身の血液検査の結果を見せてくださり説明をしてくださいました。その中で最も印象的だったのが、「化粧水、保湿剤はいらぬ」との内容です。何故印象的かという、殆どの説明は理解できていませんでした。ただ、この一点に関しては「化粧水、保湿剤がいらぬなんてそれはないわ」と反発ではないのですが思ったからです。こんな状態で松本医院に通いましたが、今の私は化粧水、保湿剤がいらぬ生活ができています。看護師さん、信じなくてごめんなさい。真実を話して下さったのに本当に申し訳ない解釈をしました。

授乳中でしたので、状態に合わせて漢方薬、赤と黄の塗り薬、漢方風呂が処方されました。2週間ほどして目が痒くなり、鼻水が出て鼻周りが痒くなりましたが数週間で落ち着きました。「民間療法をしていたし、脱ステロイドが殆ど終わっているのかな。」なんて思いました。しかし真面目に続けていなかったのに本格的なリバウンドはまだ始まっていなかったのです。

第1子が1年目の冬、渴いた咳をしだしてなかなか治りませんでした。なんの薬も使わずやり過ぎました。第1子が2年目の冬、渴いた咳だけでなくクループ症候群みたいになりました。第2子を妊娠中で、夜中の咳に付き合うのも辛くなり小児科を受診。吸入しました。今思うとステロイドが入っていた

と思います。

第2子出産直前、私の顔にヘルペスができました。お薬は使いたくないので放っておきました。治りません。ヘルペスのまま第2子出産。産後は高熱、ヘルペス、高熱と毎週なりました。2カ月は、続きました。楽しいはずの子育てが辛くしんどいという気持ちしかない日々になりました。そんな時に、母が若年性アルツハイマーと診断されました。そして父が精神病と診断されました。父が躁状態のとき、いつも母に当たっていましたが母が若年性アルツハイマーと診断されてから私に当たるようになりました。ある朝、私の顔にできたヘルペスを第2子が噛みました。数日後、第2子の首もとにブツブツができ、背中にも広がりました。第2子は痒がり夜中も寝られなくなり私も付き合っただけで起きることになり、母子ともに寝られず疲れ果てていました。小児科に相談に行くとすぐに皮膚科へ行くように言われました。皮膚科の女医は「トビヒになりかけています。こんなひどいのはステロイドを使って落ち着かせて、まずはぐっすり眠らせてあげなさい。化粧水も出すから、これはずっと使うように。」と言われ、第2子の全身写真を撮り、タオルでぐるぐる巻きにして採血されました。

平成28年4月、第1子第2子ともに目やにができました。眼科に行くと第1子にステロイドの目薬が出ました。主人に伝えると、「今日なら高槻まで一緒に行ける。これから治るまで通うのは距離があるから大変やろうけど治すために頑張っただけで行けへんか？」と背中を押してくれました。

第1子は目やに。第2子は顔、背中、首元、頭皮にアトピー。私は顔、首にアトピーが出ていました。漢方薬と漢方風呂を処方してくださいました。本格的なリバウンドが私と第2子はすぐに始まりました。第2子の頭皮からのリンパ液は3日ほどで治りました。皮膚症状は全身荒れましたが、1カ月程で落ち着きました。1年たった今はヘルペスと戦っているだけです。1カ月間は夜中、寝られずかきむしりました。私は4月から9月までドンドンリバウンドが出ました。9月以降も生理の周期に合わせてひどく出たり、少しましだったりしました。1年たったぐらいから皮膚症状の強いところも限られてきました。

第1子は5月からリバウンドが始まり、幼稚園は休みました。首から下はリンパ液が出ました。膝裏が一番ひどく、歩くことも出来ません。お風呂上がりは号泣でした。私もリバウンドでしんどかったのでなだめる余裕はありませんでした。第1子と私は昼夜逆転生活になりました。テレビを見たいのではなく痒みを、ごまかす為に夜中テレビをつけていました。2人で励まし合っただけで何カ月も過ごしました。9月、私のリバウンドがピーク時。起き上がることも出来ませんでした。第1子は少し元気になり、起き上がることもできない私に代わって、第2子にご飯やフルーツを食べさせてくれました。2人で仲良く遊んでくれました。それなのに、リバウンドでしんどすぎた私は、ただ生きているのが辛く、このまま意識が飛んで死ねたらどんなに楽かと考えてしまいました。子どもたちの笑い声が聞こえているのに痒さ、痛さ、辛さから逃れたい気持ちしかありません。「この子どもたちなら力を合わせて生きていけるだろう」など

と考えてしまいました。痒くてしんどくて辛い日々。起き上がっても泣いていました。子どもが頭を撫でてくれました。辛すぎて、松本先生の「絶対治る、頑張り」の一言が聞きたくて仕方ありませんでした。でも、電話は迷惑だろうと思いました。そんな時、手記に救われました。手記の中に先生の言葉が沢山ありました。リバウンドでしんどい時、先生のパワフルな声がどんなに励みになるか、どれ程救われるか。「絶対綺麗になるからな」と言われて、「頑張り自分」と前向きになれました。狂ったように手記にすぎる日々でした。1度全て読んだのに、再度読み直すと、有難い一文に出会いました。「鍼灸をしたら回復が早くなった。早い時期からすればよかった。」みたいなことが書いてありました。私も真似して鍼灸を始めました。鍼灸の先生に的確なアドバイスを頂き、少しずつ自分の体のことがわかってきました。だいたい週1回のペースで通いました。1ヵ月後、肌のターンオーバーの時ポロポロと古い肌が取れて止まらないのに驚きました。

私も、もっと早く鍼灸を始めればよかったと感じました。それでも、なかなか体も気持ちも前向きになれない日々を過ごしていました。しかし3月のある日、「幸運のアレルギー」の手記を見て、何故か頭がクリアーになりました。

私は子ども2人を連れて両親の通院の付き添いをしていました。診察後は、毎回、姉や叔母に診察内容を報告し、叔母からはドクターに「これを伝えてくれ、この質問をしてくれ。」と頼まれ、全ての負担が私に来ていました。「そんなの無理。これが原因だ。自分の体、子どもの体を大事にするのが一番だ！」と考えるとスッキリしました。それをきっかけにして、過去の自分を受け入れられたというか・・・色々なことに感謝できる余裕がでてきました。民間療法も経験したからこそ松本医院での体の変化の有り難さをしっかり理解できたので回り道してよかったです。皮膚の入れ換えができてきたことも実感できるようになってよかったです。だから「早く治したい、早く体も心も元気になりたい、早く仕事復帰して楽しみたい。」と考えるようになりました。鍼灸の先生に、「すごく良い状態になってきた。だけど“早く早く”と思わず今年いっぱいゆっくりしてもいいんじゃない。気持ちと体に少し距離がある。“早く”と思う癖があるよね。」と精神面のアドバイスを頂きました。

松本医院に通いだして疑問を持つことの大切さを教えて頂きました。以前の私はステロイド副作用すら知ろうとしていませんでした。ドラッグストアが町に溢れていることに違和感はあるにしても何故？と思いませんでした。2人に1人が癌になると言われている理由を考えようとしませんでした。世界の医療費の4割を日本が使用しているという一説がありました。日本人は安心安全に過ごせる代償に医者に薬漬けにされて体を病んでいるのではないのでしょうか。もし、安心安全に過ごせなくなると政治に不信感をもち、不安を感じ、日本人が物事を考えるようになってしまうでしょう。考え出したら大衆が立ち上がり、真実を見抜き出します。そうさせないために安心安全に過ごさせているのです。日本人は言われるがまま病院に行き、治らない薬を処方され免疫を抑えて癌にな

り抗がん剤を使用されて世界にお金をばらまいている、等と想像したりするのが今までの自分と違う変わった点です。

アトピーだから松本先生に出会えました。アトピーだから真実の医療に出会えて子どもたちの体を元気にすることが出来ました。アトピーで苦しんだから真実を見ようと思えるようになりました。今の状態までくるとアトピーも悪いものではないと思えるようになりました。子どもは元気に産まれることが親孝行と聞いていました。でも、うちの子どもたちはリバウンドで何も出来ない私を2人で明るい雰囲気を作ってくれて支えてくれました。2回も親孝行をしてくれました。だから私は子どもたちに真実の医療をしっかりと伝えるのがお返しだと考えます。主人は医療費を沢山使っているのに、文句ひとつ言いません。「早く良くなったらいいね。」と言ってくれます。元気になったら、しっかり働いて家事をこなして恩返しをしたいと思えます。まだまだ痒いところはあるし、体力もないし、完治まで遠いので「幸運のアレルギー」とは思えませんが、真実の大切さを少し感じられたのはアレルギーのおかげです。松本先生のおかげです。心に余裕ができてきた感覚があります。自分で勉強せずに、松本先生に質問をしたら、お叱りになられますが、叱りながらも答えてくださいます。勉強したことを質問すると質問以上の次の段階まで教えてくださいます。他の患者さんが先生に質問をされた時、先生が質問内容をとらえ間違えられたことがありました。先生はすぐに、そのことに気づき、患者さんに勘違いしてごめんなさいと謝っておられました。先生の性格の真っ直ぐさが表れていた一場面だと感じました。先生は「間違った医療の後始末しかしてない、治しているのは君の免疫や。」とおっしゃいます。真実はそうかもしれません。でも、後始末をしてくださって免疫を目覚めさせる医療をしてくださっているのは先生お一人です。

真実を知っても行動に移せない医者ばかりの世の中を、我々を変えていかないといけないと感じました。日本人は世界と戦わないといけないのではないかと感じます。アトピー途中経過の手記なのですが、やはり、私の頭では書きたいことがまとまりませんでした。すみません。

松本医院で治療してよかったこと

皮膚の入れ替えができる
鍼灸の治療ができる
完治の兆しが見える
色々と考える機会に出会える
人に感謝できるようになる

完治と言われるまで絶対に通い続けます。よろしくお願ひします。



